

2025 年 9 月 29 日

各 位

RWafi 事業に本格参入、現実資産トークン化で Meme 経済圏との統合を目指す
～ブロックチェーン技術活用で新たな金融エンタメ体験を提供～

当社は、RWafi (Real World Asset Finance) 領域への本格参入を決定いたします。当社グループ保有の不動産・未上場株式等をブロックチェーン技術によりトークン化し、新たな金融エンタメ体験を提供するサービス開発を開始いたしました。

1. 背景・課題

近年、ブロックチェーン技術の発展により、従来流動性の低かった現実資産 (RWA : Real World Asset) のトークン化が注目されています。一方で、従来の RWA トークン化は単純な資産のデジタル化に留まり、エンタメ性や利用者体験の向上という点で課題がありました。

2. 当社の RWafi 定義と構想

当社が定義する「RWafi (Real World Asset Finance)」は、従来の資産トークン化サービスとは一線を画した独自の金融モデルであり、以下のような構造を中核として構築されています。

現実世界の資産 (不動産、株式等) をブロックチェーン上でトークン化し、その結果得られる流動性向上および資産運用益を、流動性プール (Liquidity Pool) (以下「LP」といいます。) に対して効率的かつ戦略的に再配分することにより、ミームコインや GameFi 等のエンターテインメント性を有する分散型金融 (DeFi) エコシステムの資金循環基盤として機能させることを目的としています。

さらに当社は、当該 LP の運用において、スマートコントラクトを実装し、\$NYAN (GYAN BLUE) や WOWBIT (\$WWB) といったミーム・コミュニティトークンの自動購入を可能とする設計を導入いたします。

本構想により、RWA と DeFi という従来分断されていた領域を接続し、現実資産に裏付けられた安定的なキャッシュフローと Web3 特有の高回転型トークノミクスとの融合を図ることで、新たな金融循環モデルの確立を目指してまいります。

3. 事業スキーム詳細

(1) 事業主体：本事業の主体は当社であり、当社保有資産の RWA 化から開始し、テスト運用成功後に他社向け RWAfi サービスの本格展開を予定しております。

(2) トークン化の仕組み：当社が保有する不動産・未上場株式等の現実資産を適正価格でトークン化し、保有資産の価格がそのままトークン価値に反映される設計となります。これにより大きな価格変動を抑制し、従来流動化が困難であった資産の流動性向上を実現します。

(3) 顧客リスクと対策：トークン取得者は、当社による保有資産の恣意的処分等によりトークン価値が下落するリスクがあります。この防止策として、RWA 化対象資産を NFT 化し、保有資産の状況を視認可能な透明性確保体制を構築いたします。

(4) 収益モデル：当社は、流動化困難資産のトークン化により流動性を創出すると共に、トークン価格が現物資産価格を上回る場合の価格上昇ギャップを収益として計上します。また、余剰利益をディーリング活用することで追加収益機会の創出を図ります。

(5) 売上見込み：当社保有アセットの規模に応じ、段階的に 1 億円～30 億円相当の RWA 化展開を計画しており、これに応じた収益計上を見込んでおります。ただし、トークン化後の価格変動や顧客サービス提供状況により変動する可能性があります。

4. 本サービスの特徴

- 現実資産のトークン化により透明性向上と流動性改善を実現
- 収益を LP に循環させ、Meme 経済圏と統合
- 当社が連携する ミーム型 Web3 プロジェクト「WOWOO」 との連携による統合的な体験を提供



5. Zoom ART との連携および独自展開

RWA (Real World Asset) の特性や活用領域に応じて、戦略的パートナーである Zoom ART Foundation^{※1} (SAFT 契約^{※2} 締結済) との連携を通じて、資産性の高い RWA のブロックチェーン展開を共同で推進してまいります。

※1 当社と Zoom ART Foundation との提携については、2024 年 12 月 30 日付「[『地方創生×RWA』を展開する、ZoomART Foundation のプロジェクトに参画！](#)」をご参照ください。

※2 SAFT 契約: Simple Agreement for Future Tokens の略。将来トークンの取得権利に関する契約

一方で、当社グループが独自に保有・管理するリアルアセットに関しては、当社独自のスマートコントラクト開発およびサービス展開を行うことで、他社とは一線を画す RWafi モデルの構築を目指します。

このように、「共同開発」と「独自展開」を資産の性質に応じて柔軟に使い分けることにより、ブロックチェーン活用の最適化と実効性の高い事業運営を実現してまいります。

6. 法的検討状況

本事業実施にあたり、資金決済法および金融商品取引法との関係性について当社顧問弁護士と検討を行いました。株式・不動産等の登記実施または権利書預託による RWA 発行リスクの回避、および RWA 自体が現物資産紐付きトークンとして暗号資産とは区別される国際的理解に基づき、現時点での法的抵触はないものと判断しております。ただし、関連法案の動向については継続的に注視してまいります。

7. 開発ロードマップと今後の展望

本サービスは、現在鋭意開発中であり、2026 年初頭の正式ローンチを目標としております。

特に、LP の自動運用に係るスマートコントラクトの実装においては、WOW00 との技術統合を前提としており、同プラットフォームが有する感性資本主義的思想およびエンターテインメント性の高いトークノミクスと親和性を持たせながら、安定的かつスケーラブルな運用基盤の構築を予定しております。

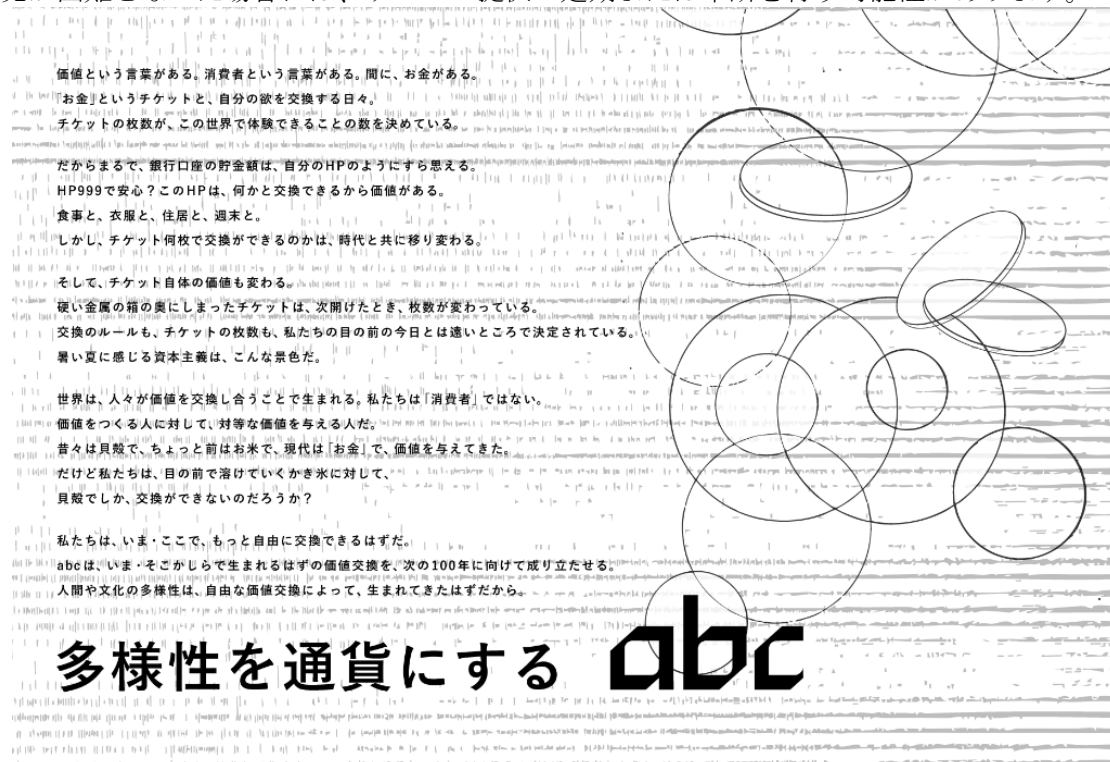
また、将来的には、DAO (分散型自律組織) 的なガバナンスモデルの段階的導入も視野に入れており、WOW00 エコシステムとの連携を深化させながら、「RWafi × Meme 経済圏の価値最大化」をコアコンセプトとする新たな Web3 型資本主義の構築に寄与してまいります。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。

※本サービスの開発には技術的・法的課題が伴い、これらの課題が解決できない場合や開発が困難となった場合には、サービス提供の延期または中断を行う可能性があります。



■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abc は「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上